

評価一覧表（戦略編）

資料 8

主要手段	指標名／活動指標	現状値	2025年度実績	2025年度の分析・今後の方針	2026年度目標	目標値	担当課
こどもの多様性が尊重され、自己肯定感を持って自分らしく暮らしている	小中学生アンケート 「ふだんの生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。」 よくある・ときどきあると答えた児童生徒の割合	現状値 91.4% 【2024年度】	-	-	-	目標値 91.4%以上 【2029年度】	（こども未来課）
こどもの多様性が尊重される	非認知能力向上に取り組んでいる小学校の割合	100%【2023年度】	100%	年度末に行っている検証会議では、学識者、ファシリテーター、学校教職員から非認知能力向上事業による子どもの変容について、多くの前向きな意見が出た。今後の方針として、保護者・地域の方へのより積極的な周知、また演劇ワークショップについては、小学校3年生以上への展開を考えている。	100%	100%【2028年度】	学校教育課
こどもの多様性が尊重される	居場所マップ	なし	あり	子育て情報アプリ「Toyooka iD0(とよおか あいどう)」上に作成。 2025年度に中高校生から寄せられた居場所情報を2026年度に登録。居場所情報として追加可能な機能を備えることで、さらに充実を図る。	あり（拡充）	あり	こども未来課
こどもの多様性が尊重される	教育相談室活動件数（電話・面談）	124件	150件	教育相談の内容は多岐にわたっている。市内各校、子どもの事実学び、子どもに寄り添う教育を基本姿勢として教育活動を展開しており、子どもや保護者の声を丁寧に拾っていると考えられる。今後も、子どもの多様性を尊重したかわりを市内全校で展開していく。	155件	140件	学校教育課
安心して妊娠・出産ができている	4か月児健診時アンケートでの「妊娠・出産について満足している割合」	現状値 93.3% 【2023年度】	92.0	産後ケア事業の委託先の増加、特に通所型は利用者が増加している。今後も利用者の意見を聴取していく。	93.0%	目標値 95.0% 【2028年度】	こども未来課
安心して妊娠・出産ができている	4か月児健診時アンケートでの「ゆったりとした気分でこどもと過ごせる時間がある母親の割合」	現状値 84.5% 【2023年度】	90.4	産後ケア事業の委託先の増加、特に通所型は利用者が増加している。今後も利用者の意見を聴取していく。	91.0%	目標値 90.0% 【2028年度】	こども未来課
安心して妊娠・出産ができている	特定不妊治療（生殖補助医療）費助成件数	96件【2023年度】	116件【2025年度】	想定以上に治療件数が増加している。 必要な方が助成を受けられるよう事業を継続していく。 計画の中間見直しにおいて目標値を再設定する必要がある。	122件	110件【2028年度】	こども未来課
安心して妊娠・出産ができている	産後ケア事業実施件数	252件【2023年度】	282件【2025年度】	計画策定後に産後ケア事業所が増加し、計画初年度で目標値を超過している。 計画の中間見直しにおいて目標値を再設定する。	280件	265件【2028年度】	こども未来課
安心して妊娠・出産ができている	子育てなんでも相談室利用件数	912件【2023年度】	717件【2025年度】	利用者は0～2歳児が多く、就園率が高くなる3歳児以降は利用が少ない。就労している保護者や小中学生の保護者が利用しやすい相談先があるのか、またそのニーズを確認し、相談室の開催日時について検討する必要がある	800件	1,000件【2028年度】	こども未来課
安心して子育てができている	乳幼児健診時アンケートでの「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」	現状値 91.1% 【2023年度】 (4か月、1歳6か月、3歳児健診の平均)	92.3	前年度から割合が増加している。今後も豊岡で子育てしたいと思う人が増えるように、専門職の相談スキルの向上と健診の満足度の向上を目指したい。	93.0%	目標値 95.0% 【2028年度】 (4か月、1歳6か月、3歳児健診の平均)	こども未来課
安心して子育てができている	子育て世帯アンケート 「豊岡市における子育ての環境や支援への満足度」（5段階評価）	現状値 2.41 【2023年度】	-	-	-	目標値 2.70 【2028年度】	（こども未来課）
安心して子育てができている	就学前施設の特機児童数（潜在的特機児童数）	0人、(8人) 【2024. 4. 1】	0人、(13人) 【2025. 4. 1】	保育の需要は高いが、少子化の影響や適切な入所調整により、過去2年間で待機児童は発生していない。今後も待機児童ゼロに努めていく。	0人、(0人)	0人、(0人) 【2029. 4. 1】	幼児育成課
安心して子育てができている	放課後児童クラブ待機児童数	10人【2024. 5. 1】	10人 【2025. 5. 1】	11月の申請期限後に入所申請をされる方が待機児童となっている。期限内に申請された方は、基本的には入所できており、期限外に申請された方もできる限り早く入所できるように調整する。	0人	0人【2029. 5. 1】	幼児育成課
安心して子育てができている	子育てセンター相談件数	741件【2023年度】	770件	出生数の減少、幼児教育・保育の無償化により子育てセンターの利用者は減少しているが、子育てに不安を感じていたり、支援が必要な家庭は多い。気軽に利用できる身近な相談窓口として今後も事業を継続する。	780件	800件【2028年度】	こども未来課

評価一覧表（戦略編）

資料 8

主要手段	指標名／活動指標	現状値	2025年度実績	2025年度の分析・今後の方針	2026年度目標	目標値	担当課
地域がこども・子育てを応援している	まちづくりアンケート問16『あなたのまわりの子どもたち（小学生・中学生）は、まわりの大人たちとのあいさつや会話ができますか』（5段階評価）	現状値 3.03 【2024年】	3.04 【2025年】	地域や学校における活動、事業が定着しており、世代を超えて地域内での関係性ができている。今後も地域における活動を促進する。	3.06	目標値 3.10 【2029年】	こども未来課
地域がこども・子育てを応援している	ファミリーサポートセンター活動件数	573件【2023年度】	656件	計画初年度で目標値を超過しているが、まかせて会員の不足感が強く、「地域で子育てを支える」視点からコミュニティセンター等へのPRを強化する。 計画の中間見直しにおいて目標値を再設定する。	630件	630件【2028年度】	こども未来課
地域がこども・子育てを応援している	こどもを含めた活動をしている地域コミュニティ組織の割合	100%【2023年度】	100%	コミュニティとして、こどもの長期休暇中に、居場所を提供したり、宿題や工作を支援するような活動が始まりだしている。好事例として全コミュニティへ情報提供していく。	100%	100%【2028年度】	地域づくり課